

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 164

所管部局	市民部	所管課	国保医療課	担当者名	三原 大雅
事業名	すこやか子育て医療費助成事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	すこやか子育て医療費助成事業			政策体系	112
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 1. 社会		

1. 事業の概要

小学生（通院）・中学生・高校生等が医療機関でかかった医療費の自己負担分のうち、1ヵ月1医療機関800円を控除した額を助成する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

子育て世帯への経済的支援

②事業を実施する必要性

児童の医療費を助成することにより、児童の健康の保持及び増進、保護者等が安心して子どもを生み育てることができる社会を実現することにより少子化を抑制

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	31,622	37,537	32,793	31,514	27,850	28,268	28,268
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	31,622	37,537	32,793	31,514	27,850	28,268
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.65	0.73			
人件費	千円	—	—	3,600	4,101			
事業費総額	千円	—	—	36,393	35,615			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

すこやか医療給付費 31,246,491円

5. 事業結果の概要

助成件数 14,981件

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 医療給付		
児童・生徒に対し、医療費を助成した。	年間	助成件数：14,981件 助 成 額：31,246,491円
(2) HP		
ホームページ掲載	年間	

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

受給者証の交付による現物給付化の検討が必要。少子化の進行で対象者が減少、医療給付費も減少傾向にある。施策の担当課が総合的に判断する事業であると思われるので、事務配分の見直しを検討する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
府制度に併せ、通院についても小学校終了まで（受給者証交付）とすることについて
- ②当該事業のアピール事項
該当者に通知
- ③反省点、今後の展開・方向性等
少子化が進行し、対象者が年々減少してきており、それに比例して医療給付費も減少傾向にある。市民の要望が非常に高い「受給者証交付による現物給付」について、利便性向上の観点から、すこやか子育て医療費助成についても実施する方向で検討すべきと考える。施策の担当課が総合的に判断する事業であると思われるので事務配分の見直しを検討する